

高齢者の生活を守る買い物支援バス実証運行事業

概要

- ・公共交通サービスの低下（公共交通の人口カバー率65%、限られたバスの運行本数）
- ・商店の廃業（中心部への外出の必要性）
- ・高齢者の社会的孤立（一人暮らし高齢者）

- ✓外出が困難な高齢者の増加、社会的孤立が懸念される
- ✓無理して車を運転し続ける高齢者も多く、安全面が懸念される

外出が困難な高齢者等の社会的孤立を防ぎ、住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らし続けられるように、外出支援、商品の宅配、安否確認等を一体型で行う買い物支援バスの実証運行を実施し、高齢者等の日常生活の支援対策を構築する

事業の内容

- ① **高齢者等支援会議の設置**：福祉、商工関係、住民が一体となり、生活用品の購入、宅配、みまもり(安否確認)等について、一体的な対策を検討、構築
- ② **住民実態・意向調査**：高齢者の移動ニーズ、移動手段等の把握のための、アンケート調査を実施し、その分析結果を反映させた利便性の高い運行計画の検討
- ③ **運行システムの構築**：利用者の登録、申込み受付、運行計画、商品宅配、安否確認等の多様なサービスを統合した運行システムを構築
- ④ **実証運行(H27.9~H28.3)**：5地域に運行区域を設定し、地域あたり週1回ずつ、平日午前中の買い物支援のための送迎バスを運行。午後は、商品の宅配、見守りサービス(安否確認)を実施
- ⑤ **運行車両の購入**：10人乗りのワゴン車を1台購入

総事業費

10.1百万円

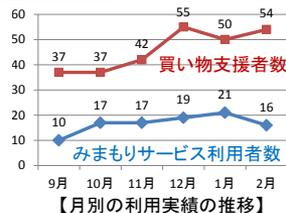
ポイント

- 住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らし続けられるように、高齢者等の日常生活の支援対策及び見守りサービス(安否確認)等を行う事により、高齢者が生きがいを持ち、安心・自立した生活をおくることができる
- 日中の高齢者限定のドアツードアの外出支援(買い物支援)を実施。運行日や地区を限定した運行の工夫
- 外出支援(買い物支援)、商品宅配、安否確認をセットで行うことで効率的な持続できるサービスを実施

事業の成果

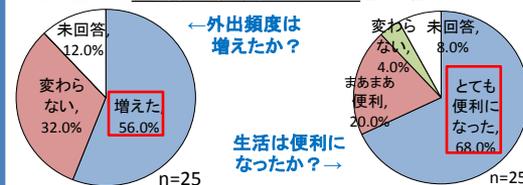
<利用実績>

- ・買い物支援の9~3月までの稼働日数129日
- ・延べ利用者数283人（登録者30人）
- ・利用者数は増加傾向
- ・見守りサービスは延べ100人回の見守りを実施(対象者50人)



<買い物支援バスの利用の声>

- ・利用者の半数以上が外出機会が増えた
- ・9割近くが生活が便利になったと回答



<期待される効果>

- ・外出促進による地域内コミュニケーション活性化
- ・引きこもりによる身体機能低下の防止、及び孤立の防止
- ・安否確認による孤立高齢者世帯の事故等の防止

青森県鱒ヶ沢町

○人口10,899人
 高齢者4,065人
 高齢化率37%
 一人暮らし高齢者1,639人
 (H27.3末住基人口)

